

【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

| | | | | | |
|------|------|-----------------|------------------|--------|---------|
| 基本目標 | 3 | 人を育み未来につなぐまちづくり | 小施策 主管課等 | 生涯学習課 | |
| 施策 | 18 | 生涯学習の推進 | 評価 責任者 | 川原 善弘 | 内線 7340 |
| 小施策 | 18-2 | 社会教育施設の整備・充実 | 評価 シート 作成者 | 曾根田 雅彦 | 内線 7341 |

小施策の概要

| | | |
|--|---|---|
| 現状と課題(総合計画実施計画から転記) | ⇒ | 取組の方向性(総合計画実施計画から転記) |
| 生涯学習の推進のためには、活動場所となる社会教育施設の利便性・安全性の確保が必要であり、老朽化した施設・設備の改修・修繕や新築などの要望に適切に対応する必要がある。 | | 社会教育施設の老朽化対策を進め、必要な施設整備を行うとともに、公民館、図書館などの社会教育施設で行う事業を充実させる。 |
| 対象(誰(何)を対象として行うのか) | ⇒ | 意図(対象をどのようにしたいのか) |
| 市民 社会教育施設 | | 学習の場及び講座等の多様なメニューを提供する。 計画的な整備や修繕を実施する。 |

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

| 実績値の推移 | | | | 実績の評価 | |
|---|------------------|------------------|---|-------|--|
| 指標 | 単位 | 目指す方向 | 成果点 | ⇒ | 成果の要因分析 |
| 指標① 学習講座数 | 講座 | → | | | |
| 当初値 (H25) 2,100 | H31目標値 2,100 | H36目標値 2,100 | 家庭教育支援、青少年教育、成人教育、高齢者教育、芸術・文化活動、地域連携事業の区分ごとに多様な講座を開催した。 | | 各公民館において、利用者ニーズの把握に努め、講座の企画を工夫して実施した。 |
| <p>2,500 2,000 1,500 1,000 500 0</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>※ 28年度の実績値について、集計方法に誤りがあったため遡って修正している。</p> | | | 問題点 | ⇒ | 問題の要因分析 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 講座メニューにより参加者数の偏りがある。 防災、環境、健康など社会の変化に応じて学んで欲しい学習テーマの参加者確保が困難になっている。 勤労青年層の参加が少ない。 | | <ul style="list-style-type: none"> 公民館は、社会の変化に応じて学んで欲しい学習テーマについても実施する必要があり、趣味や教養など市民が学びたいと思う学習テーマとのバランスを図る必要がある。 勤労青年層は、就労時間中の参加が困難であり、夜間や休日など参加機会が限定される。 |
| 指標② 社会教育施設利用者数 | 人 | → | | | |
| 当初値 (H25) 1,186,584 | H31目標値 1,187,000 | H36目標値 1,187,000 | ・荻川地区公民館の移転整備及び区界高原少年自然の家大規模改修工事を実施し、平成30年4月から供用を開始した。 | | ・地域の要望を受けながら、計画どおりに整備し、地域が望む施設を整備できた。 ・市公共施設保有最適化・長寿命化実施計画に基づき事業を実施した。 |
| <p>1,500,000 1,000,000 500,000 0</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> | | | 問題点 | ⇒ | 問題の要因分析 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 防災、環境、健康など社会の変化に応じて学んで欲しい学習テーマの参加者確保が困難になっている。 勤労青年層の参加が少ない。 老朽化が進んでいる市立図書館や子ども科学館の整備計画を早急に検討する必要がある。 社会教育施設整備に対する市民要望(南部公民館、天文台)に対応する必要がある。 | | <ul style="list-style-type: none"> 公民館は、社会の変化に応じて学んで欲しい学習テーマについても実施する必要があり、趣味や教養など市民が学びたいと思う学習テーマとのバランスを図る必要がある。 勤労青年層は、就労時間中の参加が困難であり、夜間や休日など参加機会が限定される。 市公共施設保有最適化・長寿命化実施計画との整合を図りながら、施設整備について庁内合意を図る必要がある。 |

今後の方向性(平成30年度以降)

| | |
|--|------------------------------------|
| 評価を踏まえた取組の方向性 | ★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討 |
| 「強化につながるもの」 ★ 市民ニーズの把握に努め、学習テーマのバランスを図り、魅力ある講座を実施する。 | |
| 「縮減につながるもの」 ★ ☆1 魅力ある講座の企画にあたり民間の創意工夫が活用でき、管理運営経費の削減につながる社会教育施設の指定管理導入施設の拡大を検討する。 | |
| 「強化につながるもの」 ★ 市民ニーズの把握に努め、学習テーマのバランスを図り、魅力ある講座を実施する。 ★ ☆1 社会教育施設として南部公民館の新規整備を検討する。 ★ ☆2 社会教育施設として天文台の新規整備を検討する。 ★ ☆3 市立図書館や子ども科学館の大規模改修等の整備手法を検討する。 | |
| 「縮減につながるもの」 ★ ☆4 魅力ある講座の企画にあたり民間の創意工夫が活用でき、管理運営経費の削減につながる社会教育施設の指定管理導入施設の拡大を検討する。 | |